

4. ウォークラリー【所要時間 150分～170分 200名】

(1) ねらい 地図をたよりに、定められたコースをまわり、自然に親しみながら地図を読む力や注意力、判断力を養い、互いに協力しながら冒険心を満たすようにさせる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：身軽な服装，帽子，タオル，ちり紙，水筒
- 引率者：班編制，パトロール係，救急薬品
- 所員：業務用無線，チェックカード，ゼッケン，問題，地図，ストップウォッチ，輸送車，スタート係，ゴール係

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 団体独自の問題を設定する場合は，所員と相談する。
- コースの選択は，問題の解答やポスト位置など所要時間と発達段階により判断するようにする。
- 健康安全，交通事故防止に万全の配慮をさせる。

(4) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 集合，点呼をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ●体調の悪い時は引率者に申し出る。 ●班ごとに用具を受け取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●つどいの広場 ●地図 ●ゼッケン ●チェックカード
2. 説明を聞く。	30	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォークラリーについて説明する。 ●班員が分散しないで一緒にポストを発見する。 ●全コースを歩き，早さは得点としないことなどを理解する。 	
3. スタートする。	90 110	<ul style="list-style-type: none"> ●班ごとに出発する。(抽選，ジャンケン等による) ●所の車で，安全確認係を配送し，交通安全やマムシ，ハチに注意し，事故防止につとめる。 ●道のまちがいに気づいたら引き返す。 ●他の班に問題やポスト位置などについて教えないことを約束する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタート係 ●業務用無線 ●救急薬品 ●安全確認係
4. ゴールチェックを受ける。	5	<ul style="list-style-type: none"> ●班員が全員そろって帰着したことを確認する。 ●チェックカードは到着順に採点する。 	●ゴール係
5. 集合し，まとめをする。	20	<ul style="list-style-type: none"> ●成績を発表し，活動全般について話し合いをする。 	

資 料

1. このコースのチェックポイントは本所製作の高さ100cm太さ10cm×10cmの柱に番号とオリエンテーリングマーク■をつけた固定ポイントである。
2. 活動のしかた
 - (1) 地図上にしるしたポイント番号の順に進み、ポストごとに設定し問題を解答しながらコースを一周する活動である。
 - (2) 1グループの人数は、5～6名が理想的であるが、全体の人数や活動時間の配分により変えてよい。
 - (3) スタートは時間差スタート形式で、3分間隔を基準にしている。これも全体の人数や活動時間により、2分おき、1分おきとして実施できる。
 - (4) 活動に興味を持たせるため問題の解答により得点とする。(所要時間は競わないので全員が徒歩で安全にまわるように指導する。)



